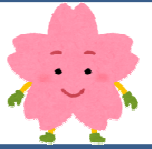




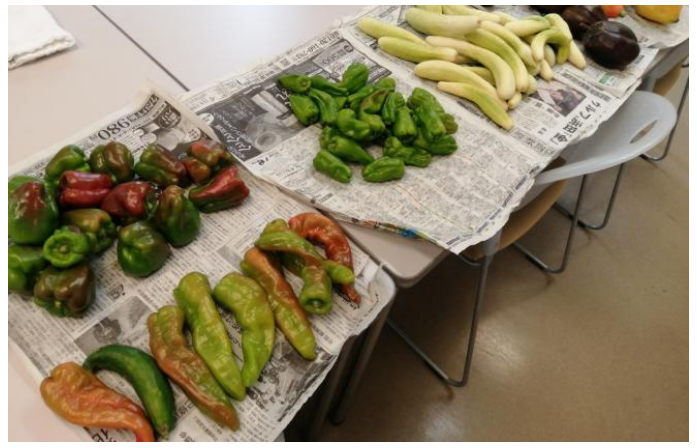
青葉区フードバンク通信



香川県三豊市の農家から「こだわり農法」野菜が寄贈されました!!



↑こちらが今回、香川県三豊市から寄贈された野菜。



↑野菜を通して香川県が身近に感じられます！

フードバンク活動をしていると色々な方から思いがけない支援をしていただくことがあります。今回は、知人の応援もあって四国の「香川県三豊市（みとよし）」が野菜の提供でご協力下さいました。「道の駅」向けにも出荷しているお野菜で、茄子、胡瓜、ピーマンなど段ボール2箱分を手配して下さいました。同封されていたチラシによれば、【さぬき「こだわり市」】という地元農家さんの連帯によるお店があり、300名の生産者の方々が野菜や果物を作って出荷しているとのこと。

三豊市といえば、香川県の中でもトップレベルの農産物産出で知られていますが、その野菜ということで、今回の配布先となった「青葉区鴨志田地域ケアプラザ」（8月9日・月曜日）の高齢者の方々も下さった野菜を目の前にして「味に期待」「さぞかし美味しいのでしょう」と笑顔で話されていました。

これまでも、三浦半島の農家さんから「トラックに乗せられるだけ」ということで、キャベツ300kg、大根300kgの寄贈を受けたり、お米も30kg袋

入りを10袋といった単位で寄付して下さいる食品メーカー経営者の方もいらっしゃり、そのたびにフードバンク活動に弾みがついています。

今回、野菜の寄贈で動いて下さった「香川県三豊市」「さぬき・こだわり市（代表：臼杵英樹様）」には、御礼申し上げるとともに、今後とも継続したご支援のご検討をお願いするしだいです。（文責：編集部）



↑こちらは昨年度、神奈川県農家から寄贈された野菜。

編集後記

今回、かねてからお話をいただいていた四国の野菜が実際に送られてきました。フードバンクの食品支援を受けている方々にとって、野菜は非常に貴重であり、また受取世帯では寄贈して下さいた地のことを知るきっかけにもなります。当会でもこれを期に、ひとり親家庭などへの食品支援に「野菜」を盛り込み、コロナ禍の社会福祉に力を入れていきます。（園）

★当会は「令和3年WAM助成」の採択団体です。9月以降の活動予定は非常事態宣言の解除にあわせて決定していきますので、引き続きよろしくお願いたします。（フードバンク事務局）